

アートと 社会と 未来について

鳥取県立博物館は、昭和47年の開館以来、地域の歴史文化の継承・発展の拠点として、またその普及を通じた教育施設として活動を続けてきました。44年を経たいま、時代の変遷によりニーズが多様化する一方で、施設の老朽化やスペースの狭隘化などさまざまな課題に直面しています。現在検討している美術部門の独立と新美術館の整備構想は、そうした課題を解決すると同時に、人口減少時代の鳥取県の地域再生拠点として、その未来の姿を描こうとしています。

このたび、県内各地で活動される方々をゲストに、地域における文化活動やそのあり方、そして未来の美術館について考え、語り合うトークイベント「ミュージアム・サロン」を開催します。今回のゲストは、大山地区にさまざまな拠点をづくりながら、コミュニティとともにクリエイティビティに軸足を置いた活動を行う大下志穂（おおした・しほ）さんです。お茶を飲みながら、カジュアルな雰囲気で見聞交換する場にしたいと思います。

ぜひお気軽にお集まりください。

美術館を考え続けるプロジェクト#02 | ミュージアム・サロン05
大下志穂（大山アニメーションプロジェクトディレクター）× 赤井あずみ（鳥取県立博物館学芸員）



ミュージアムとの創造的対話01 より、中ハンクシゲワークショップ風景 | 鳥取県立博物館第二特別展示室

日時 | 2018/03/30 [金] 19:00-21:00

会場 | 妻木ハウス（西伯郡大山町妻木578-2）

参加費 | 無料

主催・問合先 | 鳥取県立博物館 美術振興課 美術担当

電話:0857-26-8045